学校番号	２０１

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「改訂　化学基礎」　（東京書籍）						
副教材等	「改訂　プログレス化学基礎　記入式演習」　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学校で学習した内容をさらに深めたものではあるが，化学の基礎的な分野を学習する。各単元の結びつきを考えつつ，生活の中で応用されている化学に触れていきながら学習していきたい。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，化学的に探究する能力と態度を育てるとともに，化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:実験･観察の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち，意欲的に探究しようとするとともに，科学的な見方や考え方を身に付けている。	物質とその変化の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	物質とその変化に関する観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	物質とその変化について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。
評価方法	授業中での質問内容や，発問への解答内容	実験プリントやﾚﾎﾟｰﾄなどに書かれた感想･考察の内容	自らの考えを自らの言葉で表現できているか。適切な方法・手順で実験に取り組めているか。	年間 5 回行われる定期考査や授業中に行う小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	1編　物質の構成	物質の成分と構成元素 原子の構造と元素の周期表 化学結合	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○ ○	a：授業中の質疑応答の内容 b：演習プリントや実験レポート等の考察 c：実験操作の正確さ・手際のよさ d：定期考査や小テスト等の解答内容	●小テスト ●定期考査 ●実験レポート
2	2編　物質の変化	物質量と化学反応式 酸と塩基	○ ○	○ ○	○	○ ○	a：授業中の質疑応答の内容 b：演習プリントや実験レポート等の考察 c：実験操作の正確さ・手際のよさ d：定期考査や小テスト等の解答内容	●小テスト ●定期考査 ●実験レポート
3	2編　物質の変化	酸化還元反応	○	○	○	○	a：授業中の質疑応答の内容 b：演習プリントや実験レポート等の考察 c：実験操作の正確さ・手際のよさ d：定期考査や小テスト等の解答内容	●小テスト ●定期考査 ●実験レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:実験･観察の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。